

がん検診検討会議について

平成30年度から開催している「がん検診検討会議」について、本市が実施するすべてのがん検診について、課題や今後のあるべき姿等について、各専門家からの意見を聴取した結果、次のとおり市の今後の取組方針をまとめましたので報告します。

(1) 基本方針

がん検診検討会議での委員からの意見を踏まえ、厚生労働省が定める「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」及び、東京都が定める「各がん検診の精度管理のための技術的指針」に基づく実施を実現する。

(2) 今後の具体的な取組

基本方針に基づき、次のとおり具体的な取組(課題への対応)を実施する。

ア 大腸がん検診

大腸がん検診一次・精密検査受診率向上に向けての検討

イ 胃がん検診

(ア) 胃内視鏡検診内視鏡検査導入に向けてのマニュアルの作成

(イ) 胃内視鏡検診意向調査の実施(検診開始まで計3回程度)

(ウ) 安全対策等研修の実施

ウ 肺がん検診

同様の手法として実施している一般健診(特定健診等)における胸部 X 線検査と併せてあり方・読影体制等の実施体制整備に向けた検討

エ 喉頭がん検診

廃止の方向で、市の内部審議機関に図る

オ 前立腺がん検診

廃止の方向で、市の内部審議機関に図る

カ 子宮頸がん検診

検診受診期間の拡大

キ 乳がん検診

(ア) 国の指針の改訂による視触診の廃止

(イ) 市内医療機関での実施に向けた準備及び、安定的な実施のための検討

(3) 重点的な取組み目標

令和元年度に取り組むべき重点的な事項は次のとおりとする。

・胃がん検診内視鏡検査導入に向けての検討

・大腸・肺がん実施方法の検討